



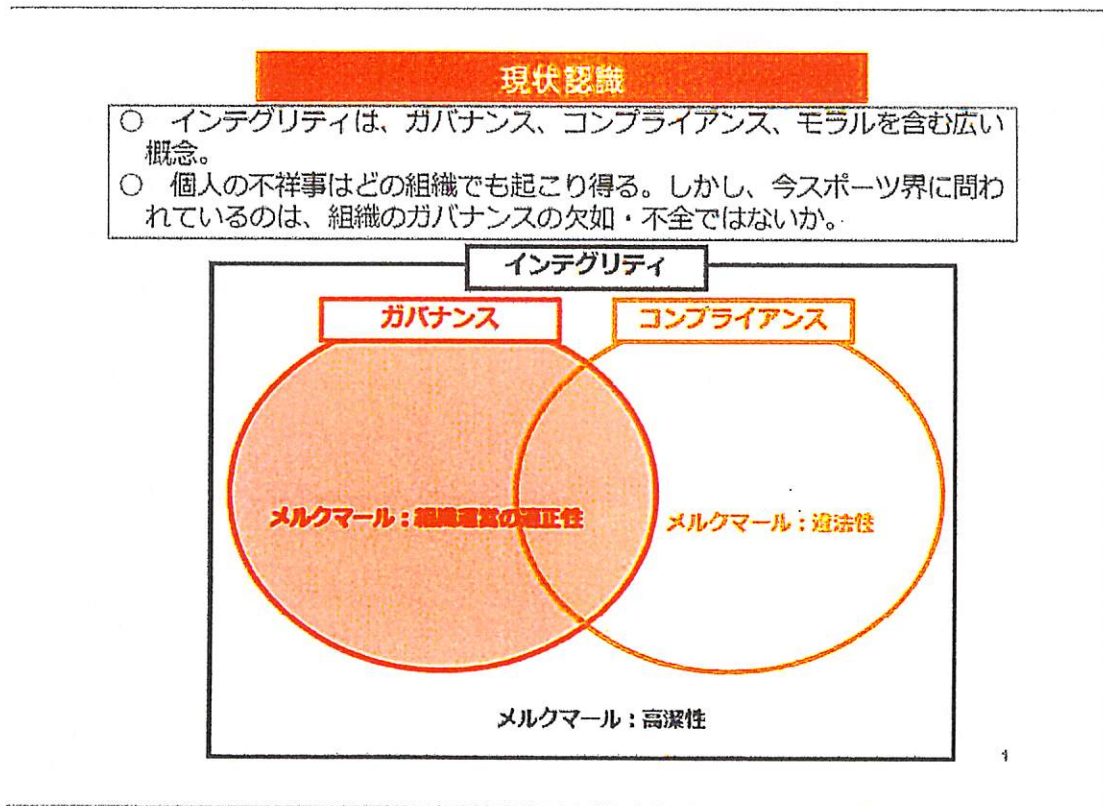
平成 31 年 3 月 14 日

## ガバナンス、コンプライアンス

一般財団法人 全日本剣道連盟

### 1. スポーツ・インテグリティ

スポーツ界全体を挙げ、旧弊を取り除き、スポーツ・インテグリティ (誠実性・健全性・高潔性) を高めていかなければなりません。(2018 年 6 月 15 日スポーツ庁長官メッセージ)



◇ インテグリティは、ガバナンス、コンプライアンス、モラルを含む広い概念。

◇ 個人の不幸事はどの組織でも起こり得る。しかし、今スポーツ界に問われているのは、組織のガバナンスの欠如・不全ではないか

(鈴木大地スポーツ庁長官)

## 2. ガバナンス・コンプライアンス

- ◇ 国内競技団体（NF）が果たすべき社会的責任として、ガバナンスの確立とコンプライアンスの徹底が求められている。

## 3. ガバナンスとは

- ◇ 組織運営の適正性（スポーツ庁）
- ◇ 経営を統制し、監視する役割（JOC）
- ◇ しっかりとした規律に基づく機関運営（公益法人協会）
- ◇ 目的を達成するために必要な組織・体制の確立と、ルールに基づく適正な運用プロセス

### 【NFが整備すべきガバナンス7原則】（JOC）

- 権限と責任の明確化  
権限と責任の明確化による権限集中及び独断専行の防止
- 倫理的な行動、法令順守
- 適正なルール整備
- 透明性と説明責任  
意思決定の透明性を確保し説明責任を果たす
- 戦略的計画性  
永続的な事業運営のための戦略的な事業計画
- 利害関係者の尊重  
選手はじめ利害関係者の意思を十分に尊重
- 効果的な財務運営  
安定的な財務運営の維持

### 【参考】スポーツ団体ガバナンスコード

- ✓ 4月パブコメ ➡ 5月～6月決定
- ✓ 統括団体（JOC、Jスポ等）はNFに対し、コードへの適合性審査を4年毎に実施し結果を公表、NFはコードの適合状況について自己説明及び公表を年1回実施

## 4. コンプライアンスとは

- ◇ 法令順守
- ◇ 法令は当然として、社会良識、定款、社内規則・規程・ルール等も（JOC）
- ◇ 全剣連の場合、「全剣連倫理に関するガイドライン」が重要

5. 全剣連の取り組み

財務の健全化

- ① 3年以内で黒字化を目指し取組中（来年度予算で説明予定）
- ② 公益法人化に当たっても必須  
（日本スポーツ協会は、会員資格を公益法人とする規定改定予定）

全剣連倫理に関するガイドラインの策定（別添）

- ① 反倫理的行為に起因する事項
- ② 不適切な経理処理に関する事項
- ③ 各種大会における代表競技選手・役員の選考などに関する事項
- ④ 一般社会人としての社会規範に関する事項

相談・苦情窓口の設置（平成30年11月）

相談・苦情 13 件（うち実名 6 件）、報道 2 件、部活動 2 件  
合計 17 件のうち、暴力 7 件  
20

倫理委員会の設置

全剣連におけるコンプライアンスに関する企画、立案、推進

綱紀委員会規則の改定

違反行為を行った者に対する処分のルールの整備（未然防止&ガバナンス）

以上